



裘服論
全

9

73
2540



喪服論

門	保
冊	2540
卷	



喪服論

喪服ノ制吾國上古ノ事詳ナラス然トモ王代ノ昔三年二年一年ノ間空位ナク
有公當時三年喪ヲ行ヒタラフ有トモヘタリ其律令格式ノ制アレトモ今用ヒ
サレハ姑置テ論セス其後戰國年久シケレハ天下一統ノ制ナク或過或不及元
祿六年今服忌令出テ天下一同ニ之ヲ用ユ時 憲廟英才儒術ヲ好ミ
夕ニ博士モ學ヲ研キ論定シタラフ所ナレバ定テ深意有テ脱漏謬語ナ
カルニ然レ昌未ク其說ノ詳ヲ聞ス頃迄切ニ服忌令ヲ讀ニ中土聖人服制ノ
意ト同シカラサルモノアリ聖人ノ意氓ハ愚ナルモユヘ恩義厚薄ノ差アルコトヲ
シラセ服制ヨリテ之ヲ知シ孝順和睦ナラシメタメナリ服ニ五ツアリ正服ハアタリ
三ノ服ナリ義服ハ親族ニアラ子ト恩義ヲ以テコレカ為ニ服スルナリ加服ハ恩義
隆ナルニ正服ニ加フルナリ降服ハ恩義殺ク所アツテ正服ニ降スナリ報服ハ恩義
ヲ以テ彼ヨリ我為ニ服スレハ我モ亦彼カ為ニ服スルナリ今ノ服忌令三年ノ

喪ヲ廢シテ一期ト定メラレシニ至親以期斷ノ文ヨリテ定メシニナルニ世移風變
ズハ時ニ趣リノ宣ナラニカ又忌ト云ル限ヲ立テタマヘルモ事ノ誤ハカワレト卒哭
期アルニ似タリ世ノ移ルニ隨テ事繁ケル官ニ莅ムモノ一年ノ久キ間事ヲ見
サレハ世務滯ルヲ多ケルハ是又止事ヲ得セハ短喪ノ義ニ於テハコレヲ論セス然
レ既ニ忌服ノ差別アルニ愚人其意ヲ悟ラズ忌中ニテ喪ハ終リ服中唯
神事ハコレヲ心得往々燕會嘉儀ノ席エモ出テ歡樂ヲナス淺猿コトナ
リ是モト服ノ名ハカリニテ身ニ服ヲ着カレ忌中ハ公事ニ預ラヌ限ニテ服中ハ
喪ヲ私心ニ勤ル答ハルヲ知ラヌハナリ聖人ノ衰杖ヲ制シタマヘル深意有
難コトナリ吾國古ハ藤衣アリシヨシ今トモ左アリタキコトナリ十二月百五十九
十日三十日七日五等ヲ定ラレシコトハ斬衰齊衰大功小功總麻五服ニ象レルナルニ
サレレ其受ル所ノ人聖人服制ト差等異ナレハ厚薄所ヲ失ヘル似タリコトテノ異
ナルモノヲ論スルヲ左ノ如シ希ハ有識ノ人コレヲ是正セシコトヲ待トシ

○服制ニ天子君ノ服アリ服忌令コレナシ大闕典ト云ヘシサレハトテ君ノ喪ヲ勤メ
給フ臣トシテカニワサルウケモナケレハ君ノ忌中ノ限リハ臣モ慎ミテ居レハ一統ノ
制ナケレハ諸侯家ノ輕重ノ異ナルアリ是モ定レハ服忌アリタキコトナリ小君為
ニ服スルモ又同シ

○服制ニ長子ノ為ニ三年衆子ノ為ニ一年後世改テ共三年ナリ父子ハ天下ノ至
親ナリ父子ニヲケル猶子ノ父ニヲケルカ如シ唯ソノ下ニアルヲ以テ一年ト定ルナリ
コトテ祖父母伯叔姑兄弟姊妹ト同シ服ナリ服忌令長子ノ為ニ九十日衆子ノ為ニ三十
日恩情薄シト云ヘシ宜クヌメテ祖父母ト同ク百五十日ナルヘシ

○服制ニ伯叔姑兄弟姊妹ノ為ニ三年服忌令九十日トス是又ヌメテ祖父母
ト同ク百五十日ナルヘシ

○服制ニ昆弟之子ノ為ニ二年是伯叔姑ノ為ニ三年ナルニコトノ報服ナリ服
忌令ニ七日トス恩情薄ト云ヘシ報服ノ意ニシムク宜クヌメテ百五十日ナルヘシ

○服制ニ嫡孫ノ為ニ三年服忌令承祖ノ者ニ九十日トス宜クス、メテ、百五
十日ナルヘシ、承祖セサル者ノ為ニ三十日、宜クス、メテ、九十日ナルヘシ、
○服制ニ伯叔母ノ為ニ一年、伯叔ニ從フテ母ノ名アルヲ以テナリ、夫之昆
弟之子ノ為ニ一年、夫ニ從ヒ又ソノ已カ為ニ一年スルヲ以テ互ニ報服テ
リ、服忌令互ニ服ナシ、恩情ナシト云ヘシ、宜ク互ニス、メテ、百五十
日ナルヘシ、

○服制ニ夫ノ為ニ三年、服忌令三月トスルハヨシ忌三十日ス、メテ、五十
日トスヘシ、此一件忌服差等外ト相似ズ、

○服制ニ妻ノ為ニ二年、服忌令九十日トス、宜ス、メテ、百五十日ナルヘシ、

○服制ニ庶孫ノ為ニ九月、服忌令七日、宜ス、メテ、九十日ナルヘ
シ、

○服制ニ從父兄弟姉妹ノ為ニ九月、服忌令七日、宜ス、メテ、九十日

ナルヘシ、

○服制ニ繼父同居ノ為ニ二年、異居ノ為ニ三月、服忌三十日トス同居
ヲカストニヘタリ、宜ス、メテ、百五十日ナルヘシ、異居ノ條件ニヘス、宜一
條ヲ立テ、七日トスヘシ、

○服制ニ繼母ノ為ニ三年、服忌令三十日、宜ス、メテ、三月ナルヘシ、

○服制ニ母卒シテ、繼來ル、繼母ノ黨ノ為ニ服セス、母出サレテ、繼母來ルモハ、
母ノ黨ノ為ニ服セシテ、繼母ノ黨ノ為ニ服ス、服忌令差別ナク、繼母黨
ノ為ニ服セス、宜ク差別アルヘキナリ、

○服制ニ繼母ノ嫁スルニ從ヘル者、其繼母ノ為ニ二年、服忌差別ナク、無服、
其從ヘル者ハ、宜百五十日ナルヘシ、

○服ニ舅姑ヨリ婦ノ為ニ九月、婦ヨリ舅姑ノ為ニ三年ニ報ユルナリ、服
忌令婦ノ為ニ無服、恩情ナシト云ヘシ、彼頑舅器器姑、因アルヲ知ラス、是ヲ

以テ相惡キ至ル宜九十日トシ恩情ヲ知ラシムヘシ

○服制ニ姪君君母女君君之長子衆子所生子ハ為ニ服女君ノ為ニ服スルト同シ服忌令只所生子之為ニス宜ク女君ト同ナルヘシ

○服制ニ姪女君ノ為ニ一年婦ノ舅姑ニツカフルカ如シ服忌令無服恩義ナキト云ヘシ故ニ妬忌ノ心盛シテ相惡相害スルニ至ル宜百五十日トシテ恩義アルコト知ラシムハ閨門ノ内肅然タラシ

○服制ニ養母ノ為ニ三年是ハ我ヲ幼少ヨリ撫育セルヲ云ナリ分地配當セニアラス服忌令百五十日ナルモ人宜十三月トスヘシ

○服忌ニ嫡母ノ為ニ三年義ヲ以テスナリ服忌令三十日若未夕相見サレハ無服甚薄シト云ヘシ宜ク三月ナルヘシ

○服制ニ本宗九族上四下四旁四已ト并テ凡二十五黨輕重ノ差有ト雖も服ナキフナシ四從兄弟親同姓猶為ニ祖免之服忌令唯正統九黨傍

黨四合十三黨再從兄弟以外路人ノコトニ薄情ト云ヘシ何以九族ヲ親ムトイワシ宜ナリ族屬ノ和親ナラス患難相救ザルコト宜服制ニ從テ二十五黨ヲ收テ服忌條例ノ中ニ入ヘキナリ詳ニ下ノ圖中ニコレヲ著ス

○服制ニ外舅姑ノ為ニ三月服忌令無服婚族ノ尤親ムヘキニシテ見テ路人ノ如シ宜七日トナスヘシ

○服制ニ壻ノ為ニ三月服忌令無服姻族ノ尤親ムヘキニシテ見テ路人ノ如シ宜七日ナルヘシ

○服制ニ夫ノ姑姉妹娣姒婦相為ニ五月服忌令無服コトヲ以テ互ニ同心愛ヲ知ラス或ハ相誹謗シテ和順ノ道ヲ失フ宜相為ニ三十日トシ相愛ノ親ヲ知ラシムヘシ

○服制ニ甥甥女ノ為ニ五月報服ナリ服忌令七日宜スノテ三十日トナスヘシ
○服制ニ夫人ノ後クハ其妻ソノ夫ノ親父母ノ為ニ九月服忌令條例

ナシ宜立テ九十日ナルヘシ、

○服制ニ姑姉妹人ニ嫁シテ、無後モノハ室ニ在ト同シ、又姑姉妹嫁シテ、兄弟ノ父ノ後タル者ノ為ニ室ニ在ト同シ、服忌令差別ナシ、宜ク其差別ヲナスヘシ、
○服制ニ宗子、宗子ノ母妻ノ為ニ三月、服忌令無條例、宜立テ七日トシ、内ホラ尊ムフヲ知シムヘシ、

○服制ニ寄公寓スル所ノ為ニ三月、服忌令無條例、是恩ヲ知ラサルナリ、宜立テ七日トスヘシ、

○服制ニ舊白君、舊君ノ母妻ノ為ニ三月、服忌令無條例、今ノ世其出ルヤ皆放逐ナリ、其服ナキ宣ナリ、若ソノ道ヲ以テ出テ、君モ道ヲ以待モノアラバ、反服ノ禮アルヘシ、反服ノ禮廢スル由来ルヲ久シ、

○服制ニ庶人國君ノ為ニ三月、服忌令無條例、唯慎ムラアルノニ宜立テ七日トシ、因心ノ有ルヲ知ラシムヘシ、

○服制ニ夫ノ祖父母伯叔父母ノ為ニ九月、服忌令無條例、宜立テ九十日トシ、恩義相愛スルヲ知ラシムヘシ、

○服制ニ姪婦ノ為ニ伯叔父母ヨリ共九月上條ノ報服ナリ、服忌令無條例、宜立テ九十日トシ、相愛スルヲ知ラシムヘシ、

○服制ニ孫婦ノ為ニ五月、服忌令無條例、宜立テ三十日トスヘシ、

○服制ニ庶母ノ已ラ慈スル者ノ為ニ五月、服忌令無條例、薄ト云ヘシ、宜立テ三十日ナルヘシ、下例ハ明律ノ例ニヨツテ、百五十日ナルヘシ、

○服制ニ凡ノ庶母ノ為ニ三月、大夫以上コレナシ、服忌令無條例、宜立テ七日トスヘシ、是又上條ニ同シ、

○服制ニ貴妾ノ為凡ノ妾子アル者ノ為、乳母皆三月、服忌令無條例、唯子アル妾ノ為ニ三日、遠慮皆薄ト云ヘシ、宜立テ皆七日トシ、忘ルルヲ示スヘシ、

○服制ニ殤ノ為ニ長中下三等、無服殤ノ四條ヲ別ツテ、降服等アリ、

サレト臣トシテハ君ヲ殤トセス服忌令無差別断シテ七歳以下ニテ服忌ナ
シト父母三日遠慮薄ト云ヘシ宜各其親ノ厚薄ヲ以テ日ヲ以テ月ヲカユルノ
制ニ從フヘシ

○服制ニ朋友ノ為ニ麻同襲ノ為ニ總共三月服忌令無條例宜七日ナルヘシ
○服制ニ師ノ為ニ心喪三年經シテ出服忌令無條例宜立テ隆恩ヲ知ラ
シムヘシ

○服制ニ道路隔リテ追テ服スルヲ稅服ト云フ九月以上ハ聞日ヨリ全ク
年月ノ數ヲ服ス五月以下ハ殘レル月數ヲ服ス服忌令ハ唯父母ノ為ニ全服ヲ
服シテ其餘殘日ヲ服ス宜九十日以上ハ全數ヲ服スヘシ

○服制ニ諸侯ト兄弟タルモノ三年ヲ服ス尊者ノ為ニ輕服スヘカラカレナリ未五
世ハス親及サレハ冠娶妻必ス相互ニ告ハナリ服忌令無條例宜服制ノ如ク
ナルヘシ今時貴賤大ニ遠ケレハ互ニ相告ルナク見テ路ノ如シアサニキ丁去テナリ

以上服忌令厚カルヘクシテ甚ク薄ク服有ヘクシテ全コレテキ

モノヲ論ス

○服制ニ外祖母ノ為ニ五月服忌令九十日一等厚ト云ヘシ

○服制ニ高祖母ノ為ニ三月服忌令三十日一等厚ト云ヘシ服制ハ服ノ輕重
アレハ邦服ニ輕重ノ服ナケレハ三十日トスルモ味アリ

○服制ニ曾祖父母ノ為ニ三月後世改テ五月服忌令九十日一等厚ト云ヘシ
又服ノ輕重ナケレハ九十日トスルモ味アリ

○服制ニ姑姊妹女子子凡女嫁スレハ一等ヲ降ス我ニ受テ厚モノ有ユナリ
服忌令女ノ嫁スルニ於テハ一等ヲ降サス一等厚ト云ヘシ宜ク嫁スルモノハ九十日
嫁セサルモノハ百五十日ナルヘシ女ノ嫁スルハ男ノ人ノ後タルト同シ何ノ女ニ厚ク
シテ男ニ薄キヤ又女養ハレハ一等ヲ降ス養ト嫁ト何ノ別カアラシ宜ニスヘシ
或云婦人ノ嫁スル其本分ナルコト降サスト然ハ庶子ノ人ノ後タルハ本分ニアラ

カ邦君ノ庶子ノ後タルコナケレハ終ニ其尊ヲ守ルヲ能ハス降テ士大夫トナル道
ニシムクニアラス、第三遇所ノ命ナリコレヨリコレヲミレハ通論ニ非ス宜嫁養共ニ等ヲ
降ヘシ、

○服制ニ嫁母出母ノ為ニ二年服忌令ニ三月一等厚クシテ差別ナシト云ヘシサレト
三年ハ本加隆ノ服ナレハ一年トスルモ味アリ

○服制ニ人ノ後タルモ人本生父母ノ為ニ二年服忌令ニ三月一等厚クシテ差別ナシ
ト云ヘシ是又上條ニ同シ、

○服制ニ女子ノ嫁スルモノ本生父母伯叔父姑兄弟姊妹姪凡本族ノ為ニ皆一
等ヲ降ス服忌令室ニ在ト同シ一等厚クシテ差別ナシト云ヘシ父母ニ降サザルハ是又
上條 同シ、

以上服忌令薄カクシテ厚キモノナリ、

○服忌令ノ等差服制等差ト相当スルモノハ父母ナリ祖父母ナリ夫父母ナリ

舅從母ナリ異父兄弟姊妹ナリ外孫ナリ内外姨兄弟姊妹ナリ外甥ナリ
曾孫ナリ玄孫ナリ凡十二ナリ、

○服忌令ノハ地配當セラル養父養子ハ中土ノ制ニナケレハ引當ナシ繼父同居
異父兄弟贅婿合セ考フヘシ、

○服忌令ニ三月ハ忌五十五日百五十五日忌三十日九十日ハ忌二十日三十日ハ忌十日七
日忌三日其等差モ大抵五服ノ級ニ似タリ、

○服忌令ノ半減其意服制ノ一等ヲ降スニ似タリ然レハ一等ヲ降セ服
ノ月算乱ルヲナク依然トシテ五等アリ半減ニスレハ日算乱レテ九等ト
ナル百五十日ノ半ハ七十五日ナリ九十日ノ半ハ四十五日ナリ二十日ノ半ハ十五日ナリ七日
ノ半ハ三日半ナリ半日ナルハカラサルコト四日ナク煩ト云ヘシ又忌ノ二十日ノ半ハ十五
日二十日ノ半ハ十日、只是ノ三一等ヲ降スノ數ニアタルナリ十日ノ半ハ五日三日半
一日半半日ナルハカラサレハ二日トス更ニ何ノ別カアル七十五日十五日九十日二十日ヨリ

降スフ甚多ク四十五日、三十日ヨリ却テ多シ十日、正當一等降スナリ十五日五
日、七日三日ヨリ却テ多シ四日二日ハ、差別甚少シ、總麻ヲ降シテ、祖免ニスル、境
界分明ニシテ煩シカラス、四日二日ハ煩瑣ト云ヘシ、從兄弟ノ例ニ任セテ無服ニス
ヘシ、半減ハ一等ヲ降ス人、簡約ナルニシカス、
忌ハ服制ヲ卒哭ニ似タリ、遠慮ハ服制ノ祖免ニ似タリ、七才未滿ノ子、父母ノ為ニ
遠慮五十日、其名如何ナリ、忌服ノ名ノ一カレルニシカス、彼幼子何ノ辨ル
所アラシヤ、

服制ノ例我ヨリ彼カ為ニ二年、彼ヨリ我カ為ニモ又一年、互ニ自子薄ナシ唯父母
祖父母其尊ヲ以テ子孫ノ為ニ等ヲ降ス、故ヲ以テ子ノ後タルニ父母ヲ
降シテ一年ナレ、父母ヨリハ降ズシテ一年報スルナリ、孫セノ嫁スル、祖父母ノ為ニ
降サザレ、祖父母モ又孫セノ嫁スルカ為ニ降サザルナリ、高曾祖ノ曾祖孫ニ於ル
互ニ降スコトナシ、尊卑ノ故ヲ以テ月算同トイハレ、服ハ齊衰總麻輕重ノ

異アリ、其餘旁尊ハ尊ヲ以テ彼ニ伸ヒトテ得ス、故ヲ以テ報服ナリ、其義文
理有ト云ヘシ、服忌令子、父母ノ為ニ三月、父母子ノ為ニ九十日、三十日ニ等、甚薄ニ
孫祖父母ノ為ニ百五十日、祖父母孫ノ為ニ三十日、七日ニ等、亦甚薄ニ、高祖ノ為ニ
三十日、曾祖ノ為ニ九十日、曾祖孫ノ為ニ共ニ七日、是亦甚薄ニ、伯叔姑旁尊ヲ以テ
九十日ニ報スルニ七ヨリ以テス、大ニツリアス、故ヲ以テ半減ノ差別ナシ、養子トナルモノ、從
兄弟ノ七日ニヲイテ、半減ノ沙汰ナク、無服トスルナラ、異父兄弟ノ子モ無服ナルヘクニテ、
半減ヲ服スルハ、義例アワスト云フヘシ、伯叔姑以上ハ、父方母方ノ差別アリ、從兄弟
姪孫三件ニ父方母方ノ差別ナキ、混雜ト云ヘシ、伯叔姑養子ニキシニ、姪ハ半減ノ服ヲ受
ニ、伯叔姑ハ姪ノ為ニ無服トスルハ、カタヲテト云ヘシ、御差圖書ノ内、出母ノ父母兄弟、定リ忌
服受ヘシトハ、節違テ、厚ニ過ルナリ、服制ハ出母ノ為ニ一年、母家ニ服ナシ、其理アリト
云ヘシ、此等皆筋ノ違ヘルニ似タリ、宜正カルヘシ、
服制ノ後タルモノ、後タル所ノ者ノ祖父母、妻妻之父母、昆弟、昆之子女ノ為ニ子ノ若

ト云ハ同宗ノ支子、小宗ヨリ、大宗ノ後トナルヲ云、必シモ弟ノ子ナリ、叔父姪ノ子トナルニ
アラス、弟ノ兄ノ養子ナルモノ、兄ノ為ニ三年、嫂ノ為ニ三年、嫂ノ父母ノ為ニ五月、コレハ論
ナシ、祖父母即己ノ親父母ナリ、兄存在ノ内死スレハ、即父母ノ服ヲ服ス、兄死シテ後ハ、
重ヲ祖父母ニ受シ、ヤハリ三年ナルヘシ、昆弟ハ、即己カ昆弟ナレハ、嫡孫承祖ノモノ、但
祖父母ノ為ニ三年、其他ノ親族ノ為ニ正服ヲ服シテ、他ノ差別ナキ例ニカセ、ヤハリ
互ニ昆弟ノ服ナルヘシ、若己兄ノ嗣トナルヲ以テ、血衆弟ノ為ニ、等ヲ降サントスレハ、養父
弟ナレハ、即叔父ナリ、正服一年ナルヘシ、血衆弟モ亦ソノ兄ノ嗣トナルヲ以テ、降サントスレハ、兄ノ
嗣ト姪ナリ、正服ナルヘシ、コレヨリ、コレヲ以テ、共ニ降スヲアタワザレ、ヤハリ兄弟ノ倫ニシテ
ヲク方、相當ナラシカ、昆弟ノ子ハ、即己カ昆弟ノ子、養方續ニラシレハ、從兄弟ナレハ、互ニ
一等ヲ降スヘケレ、臣、養方ニツラ、厚クスレハ、睦ヲ修ルユヘサレ、臣、薄クスレハ、此意ヲソムケハ、
ヤハリ昆弟ノ子、倫ニシテ、ヲム方、コレシカランカ、養子ヨスルニ子行ノモノヲスレハ、昭穆ニシテ、モ
シ兄弟行ヲスレハ、上ニ云フク、昭穆乱ル、況ヤ諸父行ヲスレハ、昭穆ニシテ、子臣、祖孫行及覆

スコレヨツ宜ク子行ヲ養子トスヘシ、若子行ニナクシテ、或ハ諸父行、或ハ兄弟行ヲセ、唯後
タル人妻及妻之父母、養方子ノ如クノ服ヲウケ、其他族類ハ本親ノ服ヲ承ヘシ、若疎屬
ニシテ、叔姪ニナルフナキモノハ、全ク服制定法ノ如クナルヘシ、若孫行ヲ子トスルモノハ、嫡孫承祖
ノ例ニ從スレシ、叔降テ姪ノ嗣トナルカ、如ハ本父ハ曾祖ナリ、本兄弟ハ諸祖トナリ、本子ハ諸父トナリ、
本孫ハ兄弟トナル、服術大ニミタル、愚人ワキニ、コレヲエス、宜唯所後ノ人私親ノ為ニ、カク
養方如子ノ服トス、シ、服忌令ニ、叔姪ノ嗣トナルハ、養子トイフスニテ、相續ト云ヘ、臣、服忌ハ差別ナ
キ似タリ、宜上ニ論スル如クナルヘシ、
服忌令、天下大典、禮官ニアラサレハ、議スキトコロ、アラ子トモ、既上ニシテ、義ヲ論シテ、其
例ヲ發セザレハ、朦朧トシテ、基本ヲミルハ、カラサルニ似タリ、ヨツ例ヲ及、殊スルヲ左ノ如シ、服ヲ
記スレハ、忌從テ知ヘシ、ヨツテ、コレヲ畧ス、工印ハ、遠慮ナリ、服無モノハ、セス、
○本宗九族一 母黨二 妻黨三 督黨四 夫黨五 凡五屬
○服十三月忌五十日一 服百五十日忌三十日二 服九十日忌二十日三

服三十日忌十日四 服七日忌三日五日 遠慮六 凡六等
 本宗九族二十五屬之正服

高祖母 世日	曾祖母 世九	祖母 世五	父母 世三	己身	衆子 世五	嫡孫 世五	曾孫 世七	玄孫 世九
高祖 世日	曾祖 世九	祖父 世五	父 世三	己身	衆子 世五	嫡孫 世五	曾孫 世七	玄孫 世九
族曾祖母 世七	族曾祖父 世七	族祖母 世七	族祖父 世七	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九
族曾祖母 世七	族曾祖父 世七	族祖母 世七	族祖父 世七	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九
族曾祖母 世七	族曾祖父 世七	族祖母 世七	族祖父 世七	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九
族曾祖母 世七	族曾祖父 世七	族祖母 世七	族祖父 世七	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九
族曾祖母 世七	族曾祖父 世七	族祖母 世七	族祖父 世七	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九
族曾祖母 世七	族曾祖父 世七	族祖母 世七	族祖父 世七	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九
族曾祖母 世七	族曾祖父 世七	族祖母 世七	族祖父 世七	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九
族曾祖母 世七	族曾祖父 世七	族祖母 世七	族祖父 世七	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九	族兄弟 世九	族姊妹 世九

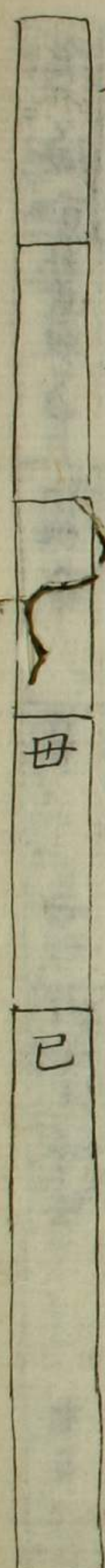
族祖母	族祖父	族姊妹	族兄弟	再從姪	再從姪	再從姪	再從姪
從祖母	從祖父	從姊妹	從兄弟	從姪	從姪	從姪	從姪
從祖母	從祖父	從姊妹	從兄弟	從姪	從姪	從姪	從姪
從祖母	從祖父	從姊妹	從兄弟	從姪	從姪	從姪	從姪
從祖母	從祖父	從姊妹	從兄弟	從姪	從姪	從姪	從姪
從祖母	從祖父	從姊妹	從兄弟	從姪	從姪	從姪	從姪
從祖母	從祖父	從姊妹	從兄弟	從姪	從姪	從姪	從姪
從祖母	從祖父	從姊妹	從兄弟	從姪	從姪	從姪	從姪
從祖母	從祖父	從姊妹	從兄弟	從姪	從姪	從姪	從姪
從祖母	從祖父	從姊妹	從兄弟	從姪	從姪	從姪	從姪

○祖父ノ横行ヲ諸祖行ト云フ父ノ横行ヲ諸父行ト云フ己ノ横行ヲ兄弟行ト云フ子ノ横行ヲ諸子行ト云フ孫ノ横行ヲ諸孫行ト云フ父昭ナレバ己ノ孫子又昭孫又穆數百ト云フ氏同ニ廟ノ制大祖西ニ居テ東向ニ其北ニ居テ南向ス明ニ向テ昭ト云フ其次南ニ居テ北向ス幽ニ向テ穆ト云フ相向フテ大祖ヲ挾ミユリク昭穆昭穆ト云フウツテ子カインニ廟入是ヲ昭穆ト云フ若昭穆ニタルハ父子所ヲ失ヒ名義ニタルテ忌服明

三難シ故ニ昭穆ヲ明ニスヘキナリ、養子ヲスル時ニタレサルヤウニ尤心ヲ用ユシ本宗ニカキ
 ラス異姓トイヘトモコレアリ、啓ハ嫂ノ妹ヲ從兄弟ノ妻ニ叔母ノ姪セテ己カ妻ニスル類ハ
 輩行ニ於テ名稱ミタレ、從嫂ノ妹ヲ子ノ婦トシ伯母ノ季妹ヲ從弟ノ妻トシ姪婦ノ
 長姊ヲ叔父ノ後室トスル類ハ輩行ニタレテ稱呼定ムヘカラス尤ナスマシキコナリ、
 ○養子ヲスルニ同宗ノ子行ノ者ヲ撰テ定ムヘシ昭穆乱レシテ服心明ラカナリ姪ヲ嗣ト
 スレハ所後ノ久ノ私親ノ服ガリ真子ノ如ク受テリソノ餘本服ナリ從姪ヲ嗣トスレハ同祖父
 ナルニ父母以下ノ真子ノ如ク受テリ再從姪ヲ嗣トスレハ同曾祖ナルニ祖父以下ノ真子ノ如ク
 受テリ、族姪ヲ嗣トスレハ同高祖ナル曾祖以下ノ真子ノ如ク受テリ、餘準シテ知シ弟ノ叔父
 ヲ嗣トスルモノモ輩行ハミタレトモ又姪ノ如ク所後ノ私親ニガリ真子ノ如ク受ヘシ私親トモ妻妻
 ノ父母子三属ナリ、叔父ノ嗣トスレハ所後ノ久ノ母ニモ真子ノ如クナルヘシ其餘ハ差別ナシ富子
 ナクシテ異姓ヲ嗣トスルモノハ論ナシ、母黨妻黨皆黨ヲ嗣トシテモ異姓タルハ同我宗ニシキ
 凡モハ輩行ニシツクヘキナリ、入婿ニスルハナラサナリ、世間同宗異姓別アルコトヲ知ルルハ、

同宗嗣トスヘキモノハ疎属ニシテ外戚ノ嗣トスヘキモノハ親戚ニシテ同宗ノ外戚ヲ取テ嗣トス
 甚キモノハ女子ノ家ヲ傳フルコトヲ許トシテ弟又ハ姪或從弟ヲオイテ外属ヲ勢家ノ子ヲ取
 テ贅婿トス如此類ハ己ノ私ニシテ先祖ノ功業ヲ塗泥ニ投ストクヘシ支人尤耻ヘ所ナリ私長
 子ヲ棄テ次子ヲ立ルモノレ又先祖ノ家ヲ私ストクヘシ不肖ニシテ廢スル止事ヲ得ルに至リ尤
 慎ムヘキトコナリ、

圖中ノ母妻婦ト云ハ皆異姓ナレトモ我ニ來テ互ニ恩親アルヲ以テ相互ニ服ニテ報スルナリ、
 ○嫡子アルハ嫡孫ナシ嫡子アルモノハ嫡孫ノ為ニ衆孫ト異ナルコトナシ其婦モ同シ、嫡子ナキモノ
 嫡孫嫡孫婦ノ為ニ嫡子嫡婦ト同シ嫡孫ノ重ヲ承テ祖父母ニシクモノハ祖父母ノ為ニ嫡子ノ
 如シ其婦モ同曾孫玄孫ノ重ヲ承ルモノモ同例ナリ、コノ嫡孫曾孫玄孫ノ重ヲ承ルモノ唯
 祖父母ノイテ子ノ如ク其餘ハ本服ヲ服スヘシ、
 ○母黨五族七属之正服



外曾祖母	外祖母	舅	從母	從母	從母
外祖母	舅	從母	從母	從母	從母
世日	世日	世日	世日	世日	世日
七日	七日	七日	七日	七日	七日

八母之正服 母ノ名アルヲ以テ母黨ニ屬ス、

○一嫡母服十二月、父ノ正妻ヲ云フ、嫡母生所ノ子ハ即真ノ嫡子母ヲ稱シテ、
 父ト云フ、繼室生所ノ子ハ嫡母ヲ稱シテ、前母ト云フ、妻ノ生所ノ子ハ嫡母ヲ稱
 シテ、嫡母ト云フ、嫡母ノ妾子ヨリ云フ所ノ稱ナリ、衆子ニテ父子ニアルコトケレハ、嫡母ノ
 子ニアル理ナシヨツテ三月ヲ服スヘシ、嫡母ノ黨ノ為ニ服スルヲ、親母ノ黨ノ為ニ服ス
 カ如ナルハ、嫡母出サルハ互ニ服ナシ其黨ノ為ニテナラサナリ、嫡母モ一々妻ノ為ニ百五十日
 ヲ受ケル、嫡母ハ、繼室ナシヨツテ繼室ノ子、嫡母ノ服ナシ、
 ○二繼母服三月、父ノ後妻ヲ云フ、繼母生所ノ子、父母ト云フ、嫡母子ハ、繼母ト云子ノ
 繼母、嫡母ノ子ヨリ云フ所ノ稱ナリ、妾子モ又繼母ト云フ、其意ハ、嫡母同様、面心スニ
 父ノ妻トスル所ノ母ニアルコトナケレハ、子皆三月ヲ服スヘシ、繼母ハ衆子ノ多ク、百五十日

ヲ服ス、嫡子親母ノ黨ノ為ニ服スレハ、繼母ノ黨ノ為ニ服ス、妾子亦同シ、妾子繼
 母來テ後生ルモノハ、繼母ノ黨ノ為ニ服ス、嫡母ノ黨ノ為ニ服ス、繼母出サル
 ハ、互ニ服ナシ其黨ノ為ニ猶更ナリ、若父死シテ、繼母嫁スルモ同シ、若又子幼少ニテ、
 繼母ノ嫁スレハ、從ヒ、養育セシモノハ、百五十日ヲ服スヘシ、繼母モ又百五十日ヲ服ス、
 ○三養母服三月、コレハ父ノ妻ニアルス同宗ノ子ヲ取テ養育シ、及ヒ異姓ニテ
 モ、三歳以下ノ子ヲ養育スルヲ云フ、其恩隆ルヲ、親母同シキヲ以テ、養母ト
 云、嫁出ノ差別ナク、撫育ノ恩ニ報フコトヲ三月ヲ服スルナリ、所後ノ人ノ
 妻ヲ、養母ト云フハ、別ナリ、混スヘカラス、養母ヨリ、養子ノ為ニ九月ヲ服スヘシ、
 ○四慈母服三月、父ノ妾子ナキモノ、父命ニテ、他ノ妾子ノ母ナキモノヲ以テ、子
 トセシムルヲ云フ、其慈養ノ恩、親母同シキヲ以テ、慈母ト云フ、ユヘシ三月ヲ服
 スルナリ、子ノ為ニ百五十日服ス、
 ○五嫁母服三月、親母ナリ、父死シテ後ニ、他人ニ嫁スルヲ云フ、子ノ為ニ本服

○ 六出母服三月、親母ナリ、父ノサリイタセシラズ子、為ニ本服、

○ 七庶母服百五日、父ノ側室ラズ、母ノ貴キモノ、親母ニアラズ、本来母ハ人ナラズ、
ニク衆庶ナルヲ以テ庶母ト云フ、廢母、嫡子衆子ノ為ニ百五日ヲ服スルヲ以テ

嫡子衆子モ又コレガ為ニ百五日ヲ服スヘシ、已ラ生ム所ノ母ナレバ、三月ヲ服
ス、所生母トモ、母トモ、親母トモ、實母トモ云ナリ、已ラ生シ庶母、或ハ嫁ニ或ハ
出レ、互ニ服ナシ、其黨ニモトヨリ服ナシ、諸侯ノ賤妾ノ家セト稱スルモ、庶
母ニアラズ、

○ 八乳母服七日、我ニ乳ラソクセシモノヲ云フ、乳ヲムノ恩、意母似ルヲ以テ乳
母ト云フ、ヨツテ七日ヲ服スルナリ、子ノ為ニ又七日ヲ服スナリ、

三父之正服 母ヨツテ所ノ父ナリ、ヨツテ母黨ニテ属ス、

○ 一同居繼父、服百五日、父卒ニテ後母改メ嫁スルノ夫ヲスヘテ繼父ト云フ、
繼母、嫁スルニ從テユキシモノ、又繼父ト云、同居ナレバ、庶母同ニ若從テ

ハ、繼父ト云フス、凡ノ他人トヨナシ、子母ノ嫁スルニ從テ庶母ト共ニ養育ナレバ、
子ノ方モ從兄弟以上ノ近キ親族ナク、繼父ノ方モ從兄弟以上ノ近キ親

属ナク、貨財ヲ與テ、其父祖ヲ祭ラシムルヲ同居ト云フ、故コレガ為ニ百五日ヲ
服スナリ、繼父モ又ユノ子ノ為ニ此日ヲ服ス、

○ 二異居繼父、服七日、不同居トモ云フ、始同居繼父ノ如クニシテ、後ニ成長ニテ別
居ニ互ニ從兄弟以上ノ親属アリテ、其主後ノ者ナラ、異居ト云、主後アルヲ
以テ、七日ヲ服スナリ、繼父ヨリ子ノ為ニ服ナシ、

○ 三原不同居繼父、無服、初ヨリ嘗テ同居セリラズ、故ニ互ニ服ナシ、親母ノ夫
ナルヲ以テ、父ニ似ルユヘ繼父ト云ナリ、

異父兄弟ノ正服 コモ母ニヨツテ兄弟ユヘ母黨ニテ属ス、

○ 異父兄弟姉妹、服三十日、父死ニテ後母改メ嫁シテ、生ム所ノ兄弟ヲ云フ、
夫ノ子、後夫ノ子、互ニ稱スルナリ、同腹ノ恩ヲ以テ、三十日ヲ服ス、父ノ同居異

居原不同居ノ差ナシ同居トイハレ子ハ異居ナリ其子ハイハレノ續ニ似タレ
相互ニ服ナシ遠慮一日スヘシ

○婿黨四屬之正服

○外兄弟姊妹服七日父ノ姊妹ノ嫁ニテ生ム所ノ子ヲ云フ異姓ナラテ相互ニ
日ヲ服ス外兄弟ヨリハ内兄弟ト云フ

○甥甥女服七日己カ姊妹ノ嫁ニテ生ム所ノ子ヲ云フ我為ニ日ヲ服スヨツテ

コレニ報ヒテ七日ヲ服スルナリ

○婿服七日己カ女子ノ夫ヲ云フ相互ニ七日ヲ服スナリ異姓ニハ血戚ナシイハレ

互ニ子比ニ親比ニ以テナリ

○外孫外孫女服七日己カ女子ノ嫁ニテ生ム所ノ子ヲ云フ我為ニ日ヲ服スヨツ

テコレニ報ヒテ七日ヲ服スルナリ

○妻黨二屬

○外舅^{ミウト}外姑^{ミウト}服七日妻ノ父母ヲ云フ相互ニ七日ヲ服スナリ

○妻服百五日己カ為ニ一年ヲ服スラ以テコレニ報ルヲシカリ

○夫黨二十二屬

○舅^{シヤク}姑^{シヤク}服百五十日夫ノ父母ヲ云フ夫ニ從テ二等降ナリ

○夫服十三月忌十五日其恩父比シテ以テ夫トシ報スルコト等厚至三月ヲ服スルコト

○夫高祖父母服七日○曾祖父母服七日○祖父母服九日○從祖父母姑服

七日○伯叔父母服九日○從祖父母姑服七日○兄弟妻姊妹服七日○從兄弟姊妹

服七日祖父母以下ハ夫ニ等ヲ降スナリ凡ハ

○夫之子婦○姪姪婦姪女○從姪從姪婦從姪女○再從姪再從姪婦再從姪

女○孫孫婦孫女○姪孫姪孫婦姪孫女○從姪孫從姪孫女○曾孫曾孫女

○曾姪孫曾姪孫女○玄孫玄孫女○婿○外孫外孫女子以下ハ夫ニ等

凡十二

○夫人ノ後ナル時ハ、**本生**、舅、姑、**為服九十日**、

○人ノ後トナルモノ、所後ノ人ノ親族、**為服九十日**、**正當ノ服ナリ**、唯父母ノ為ニ、**正當ノ服ナリ**、

○女子嫁スル、己カ本宗ノ族ノ為ニ、**十一等ヲ降ス**、唯父母及父ノ後タル兄弟

ノ為ニ、**正當ノ服ナリ**、出サレ己カ本宗ニ反ルモノハ、家ニ在ル時ト同夫家ノ喪中

ニ出サルハ、出サル日ヨリ、夫家ノ服ハナシ、唯子ノ服ハ差別ナシ、若本宗ノ服中

ニ出サルハ、**正當ノ服ヲ服スルナリ**、若服除テ出サルハ、**追テ残日ヲ服セス**、トハ

兄弟服九十日スキ、ノ後出サレ、家ニ反ルハ、**百五十日ナシ**、**百日メナシ**、**出サレタル**、**残ル**

五十日ヲ又、**ダテテハ**、**服セヌナリ**、

○**義服**

○天子ノ為ニ、**諸侯大夫ニテ服十三月**、**以下天下ノ民ニテ服七日**、

○天子ノ父母、后、太子ノ為ニ、**諸侯大夫ニテ服百五十日**、**以下天下ノ民ニテ服七日**、

○君ノ為ニ、**大夫士ニテ服十三月**、**以下國中ノ民ニテ服七日**、

○君ノ父母ノ為ニ、**大夫士ニテ君ニ從テ服十三月**、**以下國中ノ民服七日**、

○君ノ夫人世子ノ為ニ、**大夫士ニテ服百五十日**、**以下國中ノ民服七日**、

○君ノ伯叔父母兄弟、**衆子、妾母ノ為ニ**、**大夫士ニテ服九十日**、

○妾、君、君之祖父母、父母、世子、衆子ノ為ニ、**服ニテ女君ノ服スルト同シ**、己カ生ル所

ノ子ノ為ニ、**服百五十日**、女君ノ為ニ、**服百五十日**、己カ父母ノ為ニ、**十三月**、**ノ外親族ノ為ニ**、

十三等ヲ降スナリ、妾ノ賤クシテ、家ニ稱スルモノハ、**唯君ト女君ノ服ガリナリ**、

○師ノ為ニ、**心喪十三月**、**道ヲ学フ師ヲ云フ**、他技藝ノ師ハ、**恩情ノ厚薄ヲ以テ**、**百**

五十日、**九十日**、**三十日**、各等差アルヘシ、**凡技ヲ以テ業トシ生テ營ムモノ**、**僧、醫、匠、工**、

匠ノ類ハ、**三十日**、**師ノ為ニ**、**十三月**、**ナルヘシ**、

○朋友ノ心喪、**七日**、**同、嬰心喪七日**、

○君ノ上大夫ノ為ニ、**遠慮七日**、**祭ヲ止メ**、**声乐ヲ廢ス**、**葬時**、**家ニ臨テ**、**弔服**、**極ラ**

見ル下大夫ノ為ニ遠慮三日、人ノ為ニ遠慮一日、以テ君臣ノ恩ヲ明ニス
○天子ノ諸侯ノ為ニ遠慮七日、卿大夫ノ為ニ遠慮七日、士ノ為ニ止ム、小侯ノ為ニ
遠慮三日、侍臣ノ為ニ遠慮一日、

○君ノ貴者ノ為ニ服七日、賤者ノ為ニ遠慮三日、子アレハ七日、

○税服ハ正當九十日以上ハ、聞日ヨリ始テ全數ヲ服スヘシ、降シテ世日ナルモノハ、聞日ヨリ世
日ヲ服スヘシ、正當三十日以下ハ、聞日ヨリ殘ル日數ヲ服スヘシ、日數過テ聞クモノハ、日遠
慮スヘシ、

○喪服、男女十五歳以上、正當ノ服已ラフ受ヘシ、十四以下ハ、歳以上ハ、正當ノ服一節ヲ降
スニ、嫡子ノ為ニ、父、母、降ササルヘシ、七歳以下三月以上ハ、父母、七日遠慮、兄弟姉妹
ハ、五日遠慮、祖父母、伯叔父、姑、三日遠慮、三月以下ハ、父母ハ、三日遠慮、兄弟ハ、日遠
慮、

○七才以下ノ者ニテモ、父母、祖父母、伯叔父、母、姑、兄弟、姉、妹、為ニ服、正當ヲ受ヘシ、但禮ヲ備

フルコナシ

○君即位ニテ、萬死スルモノハ、七歳以下トイヘ氏、臣下ハ、正當ヲ服スヘシ、若即位ニテ、イ
マ、夕年ヲ踰ガレハ、世子ノ服ヲ服スヘシ、

○カサナル喪服アレハ、カルキヲオイテ、ヲモキヲ服スヘシ、重キ服ノスヘカ、ロキ服ニアイ、重キ
服除テ後、ナラ、輕キ服ノ殘ル日數アラハ、ソノ日數ヲ服スヘキナリ、

○古ノ藤衣ノ制、ソノ詳ナルヲ知ラス、今正ニシテ、ライ、藤衣ヲ制スヘシ、父母ノ喪ニハ、
生麻布ノアラキヲ、單ニシラ上ニキヲ、ニ上ニ麻ヲシユキニシテ、帶ニシ、首ニハ、ヲ、ア、サ、ノ、經ヲ、胸

ニ生麻布長六寸、横四寸ナルヲアテ、背ニ生麻布八寸四方ナルヲアテ、杖竹ヲ、人、シ、三、不
食、忌、中、間、哀、テ、家、ヲ、ル、ヘシ、百、五、十、日、ノ、喪、ニ、上、衣、ニ、ス、ク、細、カ、ル、生、麻、布、ヲ、用、工、麻、布、ヲ

帶ニシ、杖ヲ用ヒズ、ソノ餘ハ、上ニ同、九十日ノ喪以下ハ、サラシ麻布ヲ上衣ニス、サラシ麻布ヲ
帶ス、ウシ、ア、テ、キ、レ、ナ、シ、世、日、七、日、共、ニ、同、シ、
○弔服ハ、サラシ麻布、藤色ニシ、人ノ上着ニシテ、ユクヘシ、葬ノ日會スルモノ、忌服アルモノ、ハ、右

麻布ノ衣ヲキテユラヘシ遠慮ノ者ナラヒニ新ニユクモノハ吊服ヲ服シテユクヘシ

○輓夫輓夫、崔子ノ類、貧賤ニシテカニ食ムモノ、七日ノ間家ニ居、八日ヨリ吊服ニテカセキニ出テ、歸レ、喪服ヲ服スヘシ

○凡喪服、弔服、其材、貴賤共ニ差別ナシ、ヨロシキ品ヲ用エヘカラス

○士大夫ハ、忌明ノ後、公事ヲツカレハ、服、平日ノ如クニシテ出テ、公ニツカレ、家ニカレハ、服中ノ間ハ、弔服ヲキテ家ニ居ヘシ、私事ニテハ、嘉礼ニハ、ツカルヘカラス

○加服モ、訖アリテ、鄧伯道ノ姪、其父母早ク死セシニ、伯道夫婦、己カ子ヲ捨テ、姪ヲ助テ撫育セシユ、伯道夫婦ノ為ニ、期ノ喪ヲ加隆シテ、父母ノ如ク、三年ヲ服シ、韓文公ノ父母早ク死シテ、兄嫂ノ撫育ニアヒ、後兄嫂ノ為ニ、又父母ノ如ク、三年ヲ服セリ、如此ノ類、人ノ請ニニカセテユルスヘシ

○吾國上代ハ、出テ喪屋ニ居シコ、古歌ニシヘタリ、都會ノ地、居宅モ狹ケルハ、出テ居ルコトアタワサレ、民間郷里ノ居宅、廣キ所ハ、古制ニ復シ、中土ノ倚廬ニナラズ、出

テ喪屋ニラレヘキナリ

○喪ヲ勤ルコト、礼ノ如ク、至孝ヲ以テ、人心ヲ感動シ、風俗ヲ温厚ニスルモノアラハ、上タルモ、宜クコレヲ賞スヘシ

○喪ヲ勤ルコト、礼ノ如ク、至孝ヲ以テ、人心ヲ感動シ、風俗ヲ温厚ニスルモノアラハ、上タルモ、宜クコレヲ賞スヘシ

○喪ニシラレシ酒ヲシ、肉ヲクハラフヘカラス、戲言ヲ出スヘカラス、失笑スヘカラス、病アレ、酒ヲシ、肉ヲクライ、病イユレ、初ノ如クスヘシ、服除テ酒ヲシ、ムハ、醴ヲシ、ムテ、後ニ清酒ヲ飲ヘシ、肉ヲクハラフ先乾肉ヲクハラフヘシ

○喪ニシラレテハ、贈リモノヲスルコトナカレ、父母兄弟ノ喪、異姓ノ人ヲ、弔スルコトナカレ、同姓トイヘ、氏、五号ヲ求メ行テ、食ヲ請フコトナカレ、ハカラス

凡服制ハ、儀礼喪服、始ル、古代ノ服ニシテ、足ラサルコトモ多シヨツテ

歷代コレヲ補フ、明人孝慈録ニ至テ、大ニ備ル故ニ喪服篇々々セシ
ハ、孝慈録ニテコレヲ補ヒテ、意ヲウケテ、制断スル上ニ述ルカ如シ、

喪服論終

予既此篇ヲ書シ終ニ慨然トシテ嘆ニテ云、嗚呼、是何意ソヤ、此篇論定スル所、古聖人ノ
意ニ合フモ、天下誰人カ己ヲ用ヒテ果ニテ無用ノ長物、徒ニ勞シ、紙筆ヲ費シテ、何益カア、
再思フニ、此篇論スル所、行ワレバ、固ク然レ、彼朦昧ノ徒、同宗外親ヲミテ、ソノ親愛スルヲ
知ラス、徒ニ己カ愛憎ニセシテ、路人ノ如シ、山ニカナシ、マヤ、苟モ此篇ヲシハ、親族ノ恩愛アルヲ
ヲ知テ、互ニ和睦シ、君臣父子、忠孝廉慈ヲ尊ニテ、政術ナシヤス、所アラニカ、山ニカ、
篇喪服ノ精意ヲスルニ、唯大畧、今日ニ用アルモノヲ論スルノミ、若シ志アルノ士、
其ノ上ト欲セバ、策アルアリ、煩クコニ論ス、既テ服ヲ論スルノイテ、其礼ニ於テ、
此所々較ラ論スル、左如シ、

○當世俗間ノ礼ヲ行フ、冠昏嘉禮ニ、服ノ制、
○初喪ニ遇ニ女子ハ、結ト髻ニシテ、
○道路ニシテ、又忌中、
○殊勝ナリ、
○月額、
○鮮ニ装フテ、

觀ヨカラテヲ欲ス女子ノ白無垢ヲキルモ同シケト男子ノ穴谷ヨリハ哀容アリ殊勝ナリ徒
既挿^{ツキ}免^{ハナシ}經^{スル}ヨリニハ共雲泥ナリ宜男女共ニ古ノ藤衣ニカヘリタキモノナリ、
○始死ス時願^ヒキトテ死人ノ衣ヲトリ北^ニ向テニクモフルフアリ復^タ礼^トリケルルヘシソノ
本意ヲ得サセタキナリ、

○葬事ニ會スルモ悲哀ヲ外シテ女葬具早ク成テラ促^メカス仁意ナシト云ヘシ古山共酒々
トテ其事ヲ助ル人ハ酒ヲスム悲哀中更ニ何心ヤ沐浴ヲスルモハ必ス酒ヲ吞テスナリ此^ノ飲^ムモノ
一不食ト情意カシヤ柩ノ出ルトキ親族ニテ列坐シ立^チ振舞^ヒノ精進堅トテラツタテ^テ實^ニイリス
コエ酒ヲ之^ニ乾肉ヲ食フ騷^ラ劇^ノ内別シテ事多ク甚^クシキ強テ酒ヲスメセ^テ氣^ヲハラシス
コエトア^レ何ノ意ノヤ、

○士ノツカヘテ藩中ニアルモノ家中死人アレハ哀ヲ忍シテ不死モノ如ク葬具備^ルテ待テ
而後ニ官ニ告ク官ニ告^ルト夕^トムムカラザルユヘナリ嗚呼^コ何ノ意^ツヤ生^ハスナチ我^ニ近^クイテ
事^ヲツトメシメ死^ニシテ惡^キキラテ^テ經^ニスルノ速^クラ欲^ス君臣水魚ノ恩何^ニ於^テコ^レシ

法^キ嚴^シ下^ニ隨^テ巧^クシ^レ欺^ク官^ニ告^テ柩^ヲ留^ルノ穢^ハ官^ニ告^スシテ柩^ヲ止^ルノ穢^ハ其^ノ
間^何ノ別^レヤ薄^ク刻^ニシテ恩^意ス^クナク^クノ欺^ラ受^リハ仁^厚ニ^テ恩^意彼^ヲ感^セシメ
ソ^ク欺^ラ受^ケサ^ラニ^シカス宜^ク藩^中ノ制^モ大夫以上^ハ三日^ヲ止^テ葬^具大成^ヲ待^テ葬^ラシメ
古^下ハ夕^ヲ待^テ葬^ラシメ死^シ即^チ哀^ヲ發^セ宣^邦君^仁ハ^スヤ及^ビ雀^子借^店ヲ^ルモノモ
亦然^リソ^ノ店主^宜仁^意アル^ヘキヤ、

○死^シテ七日^メハ佛^說ニ^ヨリ七日^ノナリトテ僧^ヲ請^テ朋友^諸人^々葬^事ヲ助^メラ招^キ膳^ヲ
ヲ供^シ酒^ヲス^メ其^勞ヲ謝^スモヘテ^クコレ^ヲ以^テ死者^ノ冥^福ヲ祈^ルト若^シカラサ^テ旁人^ニナ^コソ^ツ
テ財^ヲオ^シシ^テ死者^ニ薄^クシ^トス^ツテ志^スル^{モノ}モ止^事ヲ^エス^其俗^ニテ^ラ宣^傷ニ^シカ^ラス^ヤ詩^云凡^民
有^喪匍^服救^之隣^里モ^シ事^アレ^ハ朋友^親戚^相救^フテ事^ヲ成^スハ藩^郷相互^ニレ^テ所^ナリ何^悲
哀^中勤^テ酒^食ヲ設^ケコレ^ヲ謝^スル^ニ及^ビヤ又^何ノ其^謝セ^ルラ^議ス^ルコ^レア^ラニ^貧者^コカ^為ニ
多^ク家^資ヲ損^シコレ^ヲ以^テ多^ク債^ツク^ナフ^ヘカ^ラサ^ルニ^至ル^宣ア^ヤマ^ラス^ヤヨ^ロシ^クコレ^ナカル^ヘシ^財アル
モノ^ハ忘^明ノ後^歲時^古祭^ノ日^ニ至^テコレ^ヲ謝^スル^モヨ^シ我^ノソ^ノ勞^ヲ志^シセ^バ又^互ニ^彼ノ^難ヲ^救

フ何ゾニガテラ謝スルヲセシ久遠忘ルサルヲコソ、厚シト云ヘキヤ、

○今ノナラハ、シイツレノ諸侯ノ家トカニシトモ、外職ノモノハ、正當ノ忌中家ニツテ、喪ヲ勤メシムトモ、カクテ内職ノモノハ、ウツク奪情シテ、イニタ忌中ナルニ上ノ御免ナルハ、出テ勤仕スヘシトテ、父母ノ喪モ或ハ三日又廿日ニテ、御免アルハ、平生ノ装ヲシテ出テ勤ム上ノ人モコレヲ以テ恩トシ、居喪ノ人モコレヲ以テ恩トシ、其恩意ヲ謝スヲモヘラク彼ヲ寵スルノユヘノ死穢ヲ厭ハスト、ヨツテ居喪ノ人モ又寵アルヲ以テ然トシテ、心ニ至ラク我ヲ待ルコト外職ヨリ厚シト、嗚呼、何ノ心ツヤ、不知モトコオキナク不奪情急迫ノ時ナルヲ、君子ノ人ノ喪ヲ奪ズ、又喪ヲ奪ルハ、カラス我哀ウスキヲ以テ、彼ヨリコレヲウケ、彼之ヲ以テコレウスシ宗廟ノ中敬ヲ忘ル者ナリ、墟墓ノ間哀ヲ忘ル者ナシ、互ニ哀ムルト云ヘシ、其情ヲ奪テ、何ノ恩トス、理アラヤ、彼薄情ニシテ喪ヲ長ク勤メス、或至孝ニシテ止時ナキモノ、タメニソノ中ヲ制シテ、忌限服限ヲ立テ置、又事ノ不便ナカ為ニソノ人ヨツテコレヲ減ス中モ、減スベクシ中ニラス、何ソ以中トセシ、既ラノ中ヲ立テ、又ソノ中ヲ減スコレヲ上ヨリ令ライソク變易スト云、豈モトラスヤ、宜忌中ハ正當ヲ勤メシムヘシ、

○將ニ葬ラントスルニハ、必ス堂頭和尚ノ引導ヲウケ、衆僧梵唄ヲ以テカヒヒス、以テ為コレヲ以テ冥途ノ苦難ヲ免レ、鴻土ニ生ストナシ、トシ人存生ノ内善ヲナスコト少ク、惡ヲスルコト多ク、トシ惡報ノ來テ苦難ヲナスト、ヨツテ死者ヲシテ罪人トシ、善ヲ修テ、冥福ヲ祈ト、孝子ノ心モトヨリ、親ノ安樂ナラニテ、願ハ財ヲ顧ス、施散シ僧ノス、メニ從フヲモヘラク、和尚讀經ノ功德ヲ以テ、親ノ苦難ヲ救フ、和尚ヨツテ極重惡人、無他方便、唯稱弥陀、得生極樂、如是畜生、衆菩提心、等ノ文、トシ唱フ、トシ喪主感嘆讚仰シテ、アリカキム子ヲノス、嗚呼、何ノ心ツヤ、親ヲシテ、罪人惡人畜生トス、又トラス、甚チラスヤ、凡天地内ニアルモノ生アルハ死アリ、必然ノ理ナリ、吾父正ヲ以テ死ス、然ラ子ニシテ罪人ヲ以テ父ヲシ、仁孝子豈然ルケヤ、夫含生ノモノハ、氣アリテ生シ、氣散シテ死ス、死シテ何ノ苦難アリ、大ナルカナ死ヤ、ソノ大虚ニ帰スナリ、彼佛イニタ來ラレ以前久、誰カ引導ヲセシ、イニタノ苦難ニアラキカス、孝子宜ク察スヘキトヨコナリ、何必モ引道ヲ用テ、誠信ヲ尽シテ、生ハコレヲ養ヒ、死ハコレヲ哀ミ、コレヲ葬リ、コレヲ祭リ、終身忘ル、コナクハ、事足りト云ヘシ、

○院寺殿ニテ宮室ノ名ナリ、翰林院、鴻壇寺、大同殿ノ類ナリ、我國天子ノ御謚六十二代、村上

天皇三十三天皇帝稱三奉ルニテ謚法ヨリテノ帝ノ德ニ從テ名ツケ奉ルトヘタリソノ内平城嶺城ハ地
名淳和陽成字多朱雀院名ヨツテ此四帝ヲ院ト唱フルモアレトモ實ハ直ニ院ノ名ヲ稱スルテ天子
ノ号ハヤリ天皇ナリ醍醐村上寺院ノ名ニシテ此八帝ハミテ御位ヲ讓リ在院ニシテ故ヤ謚法ノ
謚名ヲラス六十六代冷泉院ヨリ始テ院ト稱シ奉ル此後ノ天子ハ多ク御位ヲ讓リタヒ在院ニシテ政事
ヲ聞召シユヤニテ院ノ名地ノ名ヲ稱シタテラハルナリコレヨリミレハ天子ナラテハ院トハツクニシキコナリ
後歷代ノ白皇后ヲミテ某門院ト稱シ奉ルノ後藤氏ノ大臣ニ任スルモノ其寺ト云西園寺法盛
ノ類ナリ是モ後ニ其院ト云フ道達院ノ類ナリ北条氏執權ト成テ其寺ト云最明寺ノ類ナリ
足利尊氏等持院ト云シヨリ以來公方家モミテ其院ト云フノ後公方ヲラ子トモ諸國ノ太守モ又
其院ト云國初以來大小名ミテ其院殿ト云近世ニ至テ士人ハミ及ハス富ルモノハ金ヲ出シテ請
寸ハ農工商賈モ又ミテ其院ト云コニ至テ院号降テ士庶ノ号トナル宣淺猿カラスヤヨツテ僧
徒利ヲ貪リ私ニコレカ階級ヲ立テ以テ金ヲ右ノ門路トス其院殿其大居士大禪定門大禪尼大
童子大童女ノ類ヲ第一等トシ朝士以上ニ用ヒ其院某居士大姊中等トシ士庶ノ上等ニ用ヒ其信士信女士

庶中等ニ用ヒ單ニ其某ヲ下等ニ用フ外淨土宗ニ蓮社号ヲ奉ルアリ日蓮宗ニ白号アリ一向
宗ニステ其某ト云各ノ宗ヨツテ種々ノ号アリ夫名号ハ上ヨリ定ルルヨロシテ朝廷トイヒ己ヲ稱
スルテ尊名得ノ詮アリ上許サレトモ僧徒金ヲ取テ私コシテ許シ俗人コト得テ佳名アリトス僭
稱甚キコトヨリ大ナルモナク嗚呼己何心ヤ惑フ甚キナラズヤ院モ殿モ本宮室ノ名而シテ院殿
ト云文妾甚キナリ居士ト仕ガレモノ稱ナリ今官人ニテ居士ト云ハ本義違フト云ヘ又何ノ太字カ
レト云太字ノ意衆ヲスレテ以テ衆中ノ大ナルモ云ト云大將軍大都督類ニルヘ彼居士何カ所
ナリ他モ同姉妹室在稱方成人有室時ハ婦妻ノ稱ナリ姉妹モアラフニテ大姊ト云何カ義ヤ信
ハトト訓ス宣虚士アラフヤ士モ或キラサレハ信士ト云トモ世宣虚女アラフヤ女ノ真實ナルヲ眞女ト云佛
經ニ善男善女ト信士信女ヲ聞カス既院ト云又社ト云フ重ナルト云ヘ此等ハホシト訓ス何カ言モナクニテ其
此等ト云又何カ義ヤ女妾甚キト云ヘ及ヒ送葬式或碑碣大小皆ソノ制度ナリ貴賤ノ差別ナリ其人
貧富存ス亦哀ニシヤト眞上ヨリ制度ヲ立テ邦君大夫上ヨリ謚ヲタラシメ士庶ノ生時別号ヲ稱シ
其之墓ト書スヘ送葬式碑碣ノ制モ上ヨリソノ度ヲ立タラシメテ其度ヲ立タラシムルハ此ノ

く不及りモノク、皆度ヲ守ル、空文ヲ以テ、諸物ヲ禁シ、之ヲ反并ナリ、藤氏ノ昔、美談ヲタテアリ、忠義公貞信ノ類、事備事トス、尾藩モ始、某公ト云シ、近世、カカ、水藩、今至テ、某公ト云シ、イニキナリ、稱呼ノ香典、別ニ論スル所アリ、コニハ、ラク、思各ス。

○棺槨ヲ制シテ、土中埋ム、古今ノ正法ナリ、然レ、宇代文武天皇四年、大和國元興寺僧道昭、復言シ、火葬ニテヨリ、火葬太ニ流行シ、今至テ止ス、モヘラ、火葬ニ、ハ罪業燒滅ニ、ト樂土往シ、得ル、ト以テ、貴人富人、多ク火葬ス、財ヲ費フ、多ク以テ、貧者セズ、却テ礼ヲ得ト云シ、ト國家法極刑大罪アリ、ト毎金ニテ、ト生子、金ニテ、ト及ス、孝ト云シ、生時、大テ以テ、指ヲ燒ク、モノ、ト誓苦タス、ト死ス、トモ、ト全身、ト投シテ、肌膚ヲ灰炭トス、大罪ニ、ト異テ、ト五体分散シテ、粉屑トス、ト而シテ、後孝子ノ、ト宣イサキカラヤ、文書ヲ以テ、不孝ノ地、ト陷ル、ト云ヘシ、ト不敬毀傷ノ、ト教向日、ト論ララス、ト真相、ト突人ヲ、ト風頭ニ立テ、ト嗅ヘカ、トラ、トシ、ト厭ヒ嫌フ、ト心ヲ、ト生モシ、ト孝子、ト宣ラズ、ト忍ビヤ、ト宣ク、ト嚴令ヲ下シテ、ト火葬ヲ禁ス、ト天神ヲ、ト穢ス、ト罪謝セサル、ト所ナリ、ト水葬ヲ、ト裸葬モ、トニルヘケト、ト邦君、ト大夫、ト上ノ、ト歴代例ニ、ト先君遺言、ト凡モ、ト臣子、ト宣ク、ト謀テ、ト正葬ス、トキナリ、ト孝子、トルモ、ト宜味ヒ、ト心ニ、ト感、ト思ナ

ル故、ト正不正ヲ、トマヘ子ハ、ト上ヨリ、ト同ノ、ト禁制、ト下ラレ、ト止フ、ト宣宋祖、ト嚴令ヲ下シテ、ト禁テ、ト之、ト○凡忌日、ト年中、ト三日ヲ、トナシ、ト毎月、トアト、ト思フ、ト惑フ、ト上ス、トセ、ト上厚ニ、トコク、ト義亡、ト強テ、ト論ス、ト死シテ、ト三年、ト内、ト忌日、ト春秋、ト彼、ト守日、ト合、ト其人、ト定業、トニテ、ト早、ト葬、ト上、ト生ト云、トト云、ト説、ト捧腹、トニ、ト又、ト死日ヨリ、ト第七日迄、ト日、ト宣日、ト當シ、ト必ス、トノ、ト血、ト威、トノ、トモ、ト死ス、トト云、トツテ、ト巫祝家、ト丑、ト宣、ト除ノ、ト法アリ、ト惑フ、ト上、ト信ス、トカラス、

○七少陽ノ數、ト佛者、ト多ク、ト七、ト數ヲ、ト用、ト忌、ト中、ト五日、ト宣ク、ト一般、トナシ、ト七、ト折シテ、ト七日目、ト別ニ、ト法、トナシ、ト七、ト○早九日、ト勸土、ト往生、トス、トテ、ト餅ヲ、ト春、ト宿、トテ、ト四十九日ノ、ト數ト、ト合、ト本尊、ト捧ケ、ト冥福ヲ、ト祈ル、ト煩瑣、ト厭フ、ト悲、ト哀、ト申、ト何、トソ、トノ、ト猥雜、トト、トヲ、トセ、ト宜、ト止、トニ、トカ、ト此、ト邦、トノ、ト俗、ト歌、ト任、ト上、ト結シ、ト昏、ト礼、ト棟、ト上、トケ、ト正月、ト嘉、ト儀、トニ、ト用、トコ、ト凶、ト事、トニ、ト餅、トヲ、トツ、ト具、ト事、トヲ、トツ、トツ、トカ、トタ、トム、トル、ト惑、トヘ、トル、トニ、トヤ、
○二年ヲ、ト小、ト祥、トト云、ト三年ヲ、ト大、ト祥、トト云、ト法、ト今、トナ、トス、ト似、トタリ、ト三七ノ、ト數、ト數ヲ、ト用、トテ、ト七年、ト十三年、ト十七年、ト廿三年、ト廿七年、ト卅三年、ト五十年、ト百年、トヲ、ト年、ト忌、トト云、トテ、ト大法、ト今、トナ、トス、ト其、ト間、トハ、ト沙汰、トナレ、ト疎漏、トト云、トヘシ、ト宣ク、ト三年、ト吉、ト祭、トノ、ト後、ト春、ト秋、ト禘、ト祭、トシ、ト忌、ト日、ト存、ト戒、ト哀、トヲ、ト忌、トス、ト毎、ト歲、ト如此、ト善、トト云、トヘシ、

○喪事方端ニカシテ、費用多キモノナルヲ、送葬ヨリ四九日百箇日ニ至テ、僧ニ布施ヲアタケテ多ク
ソノ費ハ棺槨衣衾ノ費三倍ス、故ニ以テ喪家多ク耗費シテ、他日ノ經營ニ苦ム、宜ク僧ヲシテ引導セ
シムルヲ止シ、彼佛來ニケル以前、引導セストイハ、^{數多アリテ}引導ノ沙汰ナシキハ、^{數多アリテ}死者迷惑如何ナラキカス、無益ナラフニハ、唐土ニ佛來
ルノ尤早ク、名僧^{數多アリテ}多ク、凡そ皆燒香シテ今日ノ福ヲ祈ル、此方ノ神明ヲ祭リ祈方如クシテ、死後冥
福祈ルヲナシ、予往年長崎ニキキ、黃檗宗ノ唐人建立ノ寺ニ詣リ、本堂正面幕ヲ打テ、通
路遮テ、其故問ハ、余送葬來ルリ、佛死人ヲ忘ム、ヨツ如此ト云、唯邦俗ナシ、和尚墓所ナ
テ、引導スヨリ、果シテ予カ思、所ト合リ、コレニシテハ、引導スルヲナク、布施スルヲナク、喪家費スナク、
經營ナシヤカラシ葬親ヲ市ニ埋ナリ、孝子悲哀知ルヘニ、如何梵唄鐘鼓喧嘩シテ葬ルヲセシ、
○平生壇家ヨ、且那寺ヨト、チナミヲムスヒイテ、スワ送葬ケアリトイハ、引導ノ布施料、若干、諷吟僧
ノ布施料、若干、四九日百箇日、廻向寮道料ハ仕切テ若干、道具受返料、若干、騷劇中、
葬ルキサキ、双方ヨリ、カケ引ラスル、サナカラ市中ノ物價、但昂ク、トスルニ似タリ、孝子ハ生ヲ欲セザルカ
如、僧侶ハ捨身ノ本分ナレ、千金ヲモテモ、塵芥ノ如クナルキ折カラカ、ルイヤシクアサシキフルニ、

長大息スルニ多ク、宜ク漢土ノ制ヲフテ、引導ナスト、コトキニシカニヤ、

○葬埋ノ地、民間ニシテ、持分ノ田畑山林ノ側、墓所アリ、論ナシ、大都令ノ如ク、寺院亦數多アリ
テ、市朝邸宅ノ間ニ交リテ、アハ多ク、城市地ヲフカケ、ソノ南隣、嘉儀北隣、葬埋、吉凶混雜ト云
ヘ、吉、都令ニモ、鳥辺山ナシト云テ、別ニ空闲ノ地、墓所一定ヲキ、都下ニシテ、此処ニ葬リ、シヨシキアリ、タキ
コナリ、寺ニ送ル費用コレナク、送葬ナシヤス、仕切ラスルハ、アサシキコトモ、アルモシキナリ、國初ノ頃ニテモ、
今ノ如ク、アサシキナリ、宗門ノ改嚴重ニテリ、ヨクカ、ル弊ハ、イテ來リタルナリ、今トモコレヲカヘ、
人別ノ改メ、公儀籍ヲ以テスルハ、宗門ヲ別ク、ニスルノ煩ナカルヘ、^{サカレ}那獲宗ヲ禁スルハ、^{サカレ}公儀籍ヲ以テ
改シ、^{サカレ}公儀籍ヲナリ、捨身モ、受合ヲアテニスルハ、アサシキナルニ、チカシ、宗門且家ノクヲヤメ、
小寺ハ、歿收シテ、同宗ノ大寺ニラセ、僧侶ヲ減セ、遊民スクナリ、本業サカシメテ、國家餘カアツテ、
民生繁昌トシカ、水藩ノ義公、封内ノ小寺ハ、皆墮テ、同宗ノ大寺ニラフセ、葬所ハ、民持ニシ、地
ニ葬ル、豈此義ヲサトシ、^{サカレ}玉ヘルニヤ、イニシキナリ、

○殉葬ヲ禁セラルハ、大仁政ナト、邦君ノ家ニテ、ラツアリ、先君捐館ノ後、後宮ノ宮人ハ、

三子金ヲアタヘテ家ニカヘラシム事ヲナルニイタタキニミタナルモノニテモ先君ノ冥福ヲ祈ル事ト夫
刺殺セシメ家ヲ歸テ嫁スルヲ許サセカハルコト一切禁止シテソノ根ヲタチタキコナリ、
右ノ數件ハ其義ヲ論スルニテラス當時ニルコト大端ナリソノ細事モテラソコハク
凡ハシ、

寛政元年己酉仲冬、居予義妹喪告服、世事不督、因著此篇以述所緼禮云、
居喪請喪禮亦其宜、歟、首藤昌誌、
寛政五年癸丑初秋寫于、倉坂嚶鳴館、齋中印、

上田節藏

